

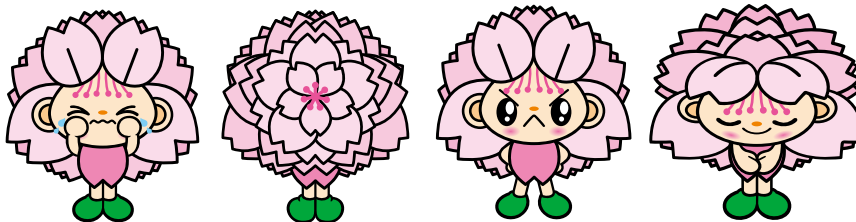


大村市マスコットキャラクター
おむらんちゃん

おむらんちゃんの新ポーズが 決定しました!

大村市のマスコットキャラクター「おむらんちゃん」の新ポーズデザインを公募したところ、110点ものデザインが集まりました。その中から9ポーズを採用し、組み合わせて使えるアイテムも新登場！
より魅力アップしたおむらんちゃんをご紹介します。

アイテムも新登場!



アイテムと組み合わせているんなおむらんちゃんに!



→ 2月11日の「おむらんちゃん誕生2周年記念イベント」でデザイン採用者を表彰しました。



Q. おむらんちゃんのデザインは誰でも使えるの?

A. 誰でも使用できます。名刺や個人で使用する場合、許可は必要ありませんので、ぜひご活用ください。また、会社や団体がPRなどで使用する場合は、「使用許可申請」が必要です。詳しくは、市のホームページ『おむらんちゃんの部屋』をご覧ください。



■男女いきいき推進課(内線223)

また、おむらん歴史観光ボランティアガイドの会は、平成18年に発足し、現在27人の会員が、年間約2千人の皆さんに観光ガイドをされています。近年人気の「まち歩き」や「体験型観光」など、観光の第2線で「大村の顔」として重要な役割を担っています。最高のおもてなしができるよう、歴史だけにとどまらず、日々さまざまな知識の習得と研鑽に励んでおられることに敬意を表し、これからも大村の魅力を楽しんでほしいと願っています。

これだけでなく、大村では多くのボランティア活動が展開されています。地道なボランティアの活動が、本市を魅力的なまちにし、活性化していくのだと思います。

視覚障害者などのために、点訳・音訳している「声の会」は、広報おむらんや市議会だより、小説や新聞コラムなどの文字情報を音声にしてお伝えしています。実は私も以前、市長コラムを自分自身の声でテープに吹き込みました。「音訳」は、読み聞かせと違い正しく伝えることが大切です。声の会の皆さんは「感情を入れず淡々と読むこと。独りよがりにならないよう分かりやすく。」を心掛けておられます。利用者の声を励みに、三十年もの間活動されている「声の会」に感謝しております。

先日、東日本大震災の津波で流された写真の洗浄ボランティアをされている皆さんを訪問しました。水で洗浄を繰り返して乾燥させ、落ちにくい汚れを特殊な薬品で落とし、梱包して発送する作業をされていました。皆さんで作業を分担しながら、お互いに声を掛け合い、大変な雰囲気の中で作業をされていると感じました。大村市ボランティア連絡協議会の前田秀樹会長をはじめ参加している皆さんは、「ぜひ多くの皆さんに参加してほしい。」と話されていました。皆さんも、写真洗浄にご協力いただけるなら、度森園公園の緑のふれあい館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



ボランティアアしませんか